



第25回三原やっさ祭り 実行委員長 決まる

第25回三原やっさ祭り 実行委員長

石井 克昭

ごあいさつ

「やっさ踊り」は永禄10年(1567年)、小早川隆景による三原城の築城を祝って、老若男女が三味線・太鼓・笛などを打ち鳴らし、思い思いの歌を口ずさみながら踊りだしたのが起源だといわれています。このやっさ踊りを中心に市民総参加の祭りとして1976年に第1回がスタートして来年の2000年には25回という節目の年を迎えます。これまで祭りを支えて下さった市民の皆様へ厚く感謝を申し上げます。三原城築城以来約400年にわた

り踊り継がれてきた「やっさ踊り」は、三原市民の共有の素晴らしい文化であり、その祭りの息吹、熱気は三原市民の誇りであるといえます。この文化と誇りを大切に、「やっさ祭り」を市民全体が参加でき、楽しめる祭りとして次世代に伝えたいものです。

この四半世紀つづいた、「やっさ祭り」を2000年という年にふさわしく盛大に開催し、わがまちの益々の発展に活かすべく精一杯努力してまいります。

何卒、皆様方の暖かいご理解とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

地方分権セミナー ~地域再編まったなし~



(社)三原青年会議所の広域ネットワーク委員会(松浦弘路委員長)は、10月27日三原シティホテル

において広島県との共催で「地方分権セミナー~地域再編まったなし~」を開催しました。

このセミナーは、三原JCが「やっさもっさ」9月号で発表した新設合併構想の小早川市(仮称)に関連して地域再編の流れを住んでいる住民が自分たちで考えるきっかけにもらう事が目的でした。当日は、三原JC会員に加え、本郷町、久井町、瀬戸田町、御調町、甲山町の各商工会青年部、竹原JC、東広島JCからの参加を含め約80名の出席者が集まり、地方分権に対する関心の高さが感じられました。

講師の広島県地域振興部高橋次長から市町村合併について国や県の動向を詳しい資料をもとに説明後、活発な質疑応答

を行ないました。高橋次長は、セミナーのなかで「これからの地方分権社会を作っていくためには、行政組織の効率化を図り、そこに住む地域の住民が決定し、その責任も自分たちが負うという本来の地方自治の姿になるべきだ。その地方分権社会を作る手段の一つとして市町村合併がある。そして今、国・地方を合わせて600兆円の負債を抱えており、今のままの行財政組織では、将来において多大な影響があると思われる。国もこの現状を改革しようと、県に対して来年度は、新しい行政組織の枠組みを作るよう指示している。しかし、市町村合併は、非常にデリケートな問題でそこに住む住民が意見を出し合うという、住民レベルでの活発な議論が大切だ。」と強調されていました。

三原JCでは今後、広域合併(地域再編)を住民で考えるため、市民・議員へのアンケート、行政・市民参加のフォーラムの開催をしたいと考えております。

研修セミナー 開催



去る10月21日(木)MLD委員会(本田光一郎委員長)では、公認会計士小西直人氏を招いて第1回研修セミナーを開きました。平成不況の中で、企業経営を成功させるための戦略的な経営にスポットを当てて講演して頂き、近江商人の商家経営観とマーケティング理論を基に、ベンチャー企業の実例を挙げながら行われました。実践的な内容に参加したメンバーは緊張感をもって聴講し、活発な質疑応答が行われました。

また、10月31日(日)には(社)岩国青年会議所の三浦明人OBをお迎えして第2回研修セミナーとしてMIAセミナー

が開かれました。MIAセミナーはより高きマネージャー像を求める経営者の必須プログラムであるといわれるものです。リーダーシップ論の中でそれぞれの自己分析などを行い、価値体系表を作成することにより、これからの自分・企業での目標が明確となり行動につながる研修となりました。

「経営者の時代」といわれる今日の経済活動の中で、企業と企業のリーダーとしての自分を冷静に判断し、これからの経営の突破口となり得たセミナーで活況の中に終了しました。

めざせ広域交流! 行ってみん祭、見てみん祭

甲山町

第48回甲山駅伝競走大会

日時 12月12日(日)
参加チーム募集 11月19日締切
最長24日まで
問い合わせ先 甲山町教育委員会
社会教育課(☎08472-2-4514)

編集後記

「めざせ広域交流」はいかがでしたでしょうか? 私たち「広域青年協議会」では、人と人とが楽しい出会いができるイベントをこの一年間紹介してきました。これからも、みはら広域の活性化のために頑張ってまいります。

やっさもっさ

広告協賛のお願い

本紙「やっさもっさ」は、(社)三原青年会議所がまちづくり運動の一環として、本紙掲載企業の皆様からの広告協賛と、(社)三原青年会議所の自主財源によって発行しており、現在1月から年11回、三原市・瀬戸田町及び本郷町内(平成11年現在)に新聞折り込みしております。私たちは来年

度も本年度以上に、市民の皆様へ愛され親しまれる紙面作りに邁進してまいります。

何卒、三原市及び近郊の各企業の方々のご協力をお願い申し上げます。詳しくは右記の青年会議所事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
〒723-0052 三原市皆実4丁目8番1号
三原商工会議所内
(社)三原青年会議所
広報委員会まで
TEL (0848) 63-3515
FAX (0848) 62-1141

編集後記

(社)三原青年会議所新聞「やっさもっさ」は1976年に発行され今月で第264号を発行するに至りました。また、本年度は、シリーズ「ズーム・イン」と題し環境、教育、合併等、私たちの身近な問題に焦点をあて、市民の皆様と共に考えてゆける紙面づくりに努めてまいりました。お陰をもちまして今月号で年11回の「やっさもっさ」を無事発行することができました。紙面を借りまして厚くお礼申し上げます。

来年もスタッフを新たに「やっさもっさ」を発行してまいります。引き続き、(社)三原青年会議所会員一同「明るい豊かなまちづくり」に取り組む所存です。どうか今後ともよろしく願いいたします。

1999年度(社)三原青年会議所

- 理事長 大東 弘典
- 担当副理事長 砂内 一伸
- 広報委員長 小松 洋文
- 副委員長 大森 尚美
- 委員 伊藤 英治
- 上田 隆政
- 勝村 憲明
- 小島 信章
- 佐々木 修
- 重森 義彦
- 鳥越 浩

やっさもっさ モニター 大募集!!

「やっさもっさ」では来年もモニターを募集いたします。私たち(社)三原青年会議所は市民の皆さまとのコミュニケーションを図り、愛され、親しまれる広報紙を目指しています。アンケートにお答えするご意見、ご感想をお寄せいただくモニターの方を募集いたします。

モニター期間
2000年1月号~11月号まで
申込み先
〒723-0052 三原市皆実4丁目8番1号
三原商工会議所内
(社)三原青年会議所 広報委員会まで
TEL (0848) 63-3515
FAX (0848) 62-1141

三原を元気にするために、力を合わせよう!

(社)三原青年会議所 新入会員募集



(社)三原青年会議所は現在、三原市及び近隣町村の40歳までの青年58名(内、女性会員3名)で組織されています。そして、次代を担う青年としての指導力の開発や、「明るい豊かな社会」を構築するための社会開発運動に積極的に取り組んでいます。ぜひ、私たちと一緒に「明るい豊かなまち三原」を目指して活動してみませんか。

入会資格
・年齢25~35歳(原則として)性別は問いません。
・三原市内及び近隣町村に在住、または勤務されている方。
入会方法
詳しくは(社)三原青年会議所事務局までお問い合わせください。
〒723-0052 三原市皆実4丁目8番1号 三原商工会議所内
(社)三原青年会議所 会員拡大研修委員会まで
TEL (0848) 63-3515 FAX (0848) 62-1141